

Title	1.1 月サイエンスブックの目的
Author(s)	並木, 則行; 倉本, 圭
Citation	月サイエンスブック 第一部. 2021, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/83222
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

1.1 月サイエンスブックの目的 [並木則行, 倉本圭]

国際宇宙ステーションの後継プログラムとして、有人火星探査を次期 20 年の到達目標に据えた国際共同宇宙探査の機運が高まる中、月はいち早く開拓すべき前哨基地、あるいは技術獲得のためのプラットフォームとして位置付けられている (International Space Exploration Coordination Group 2018)。これを受け、いま我が国においても国際共同月探査の計画立案が進行しつつある。これらのミッションは、月利用や資源開発を第一目的としているが、実現すれば月科学を大きく進展させるドライバとなることは間違いない。

我々、月科学者は来るべき国際共同月探査時代に備えて、現在の知見における月科学の重要課題、未解決問題を整理しておかねばならない。そのような検討では、当然ながら、我が国が独自性を発揮して国際的に貢献すべき課題の抽出も念頭に置く必要がある。また、予算と人的リソースにおいて米・欧・中に及ばない日本が効果的に成果を上げるためには、長期ビジョンに立ったプログラムを構築することが非常に重要である。この『月サイエンスブック』はそのような検討への基礎資料を、科学の立場から提供することを目的として編集されることとなった。月を研究し、月を利用し、月で活動しようと目指す全ての宇宙開発者に役立てて頂ければ幸いである。